

UFSMA コンソの活動を継続するために「さとうきびスマート農業研究ネットワーク」を設立しました。

さとうきびスマート農業研究ネットワーク

さとうきびに関するこれまで蓄積された膨大な研究成果や UFSMA プロジェクトなどで得られる大量のデータを効率的に解析・活用し、わが国におけるさとうきびのスマート農業の普及・展開を支援するために、ネットワーク型のさとうきび研究センターを設立する。

- 1) 名称は「さとうきびスマート農業研究ネットワーク」とする
- 2) UFSMA プロジェクト継続の中核的システムとして位置づける
- 3) 構成員は現コンソメンバーを中心に、研究センターの趣旨に賛同する個人や組織とする
- 4) 設立は令和3年1月30日（土）とする
- 5) 活動内容
 - ・最新スマート農業技術に関する研究・開発・実証の推進
 - ・データおよびモデルに基づくサトウキビ研究の推進
 - ・データベースの構築
 - ・スマート農業技術のサービス化・ビジネス化の支援
 - ・スマート農業普及支援
 - ・国際研究交流の推進
 - ・スマート農業に関する情報配信
- 6) 活動方法
 - ・ネットによる会議、セミナーの開催
 - ・データベースの整備・情報共有
 - ・データ解析手法・手段の共有
 - ・メンバーによる共同研究
 - ・新規プロジェクトの立上げ・予算獲得のための活動
 - ・ホームページ“UFSMA”などを通じた情報発信
- 7) 組織ほか
 - ・UFSMA の代表機関である琉球大学を拠点とする
 - ・会費は当面不要とし、必要に応じて決める
- 8) その他
 - ・運営上の問題は必要に応じて協議する
 - ・問い合わせはホームページ“UFSMA”まで